

ガイダンス

1. 講義の予定

10月07日（金）	〈国外出張のため休講〉
10月14日（金）	第1回目 ガイダンス
10月21日（金）	第2回目 地域の環境
10月28日（金）	第3回目 地域の気候（その1・都市気候）
11月04日（金）	第4回目 地域の気候（その2・気象の観測）
11月11日（金）	〈白亜祭準備のために全学休講（午後）〉
11月18日（金）	第5回目 地域の気候（その3・クリマアトラス）
11月25日（金）	第6回目 地域の気候（その4・ヒートアイランド）
12月02日（金）	第7回目 地域の空気
12月09日（金）	第8回目 地域の音と振動
12月16日（金）	第9回目 地域の光
01月13日（金）	〈センター試験準備のため全学休講〉
01月20日（金）	第10回目 地域の水
01月27日（金）	第11回目 地域の色とアーバンデザイン

注) 上記のスケジュールは、あくまで予定です。検討を加えた結果、予定が大幅に変更になることもあります。

2. 参考図書（〔〕内は、熊本県立大学附属図書館所蔵情報）

- [1] 『環境工学教科書 第二版』（環境工学教科書研究会編著，彰国社，¥3,500+税，ISBN：4-395-00516-0，「環境設備原論」（2年生・後期担当）教科書）〔開架2，525.1||Ka 56，0000275620〕
- [2] 『建築設備学教科書 新訂版』（建築設備学教科書研究会編著，彰国社，¥3,600+税，ISBN：4-395-00614-0，「環境設備システム学」（3年生・前期担当）教科書）〔開架2，528||Ke 41，0000275623〕
- [3] 『都市の風水土 都市環境学入門』（福岡義隆編著，朝倉書店，¥3,500+税，ISBN：4-254-16332-0）〔開架2，519||F 82，0000220148，0000221369，0000221370〕
- [4] 『都市環境学』（都市環境学教材編集委員会編，森北出版，¥3,200+税，ISBN：4-927-55251-3）

[開架2, 518.8||To 72, 0000275609]

[3]と[4]は必ずしも購入する必要はありませんが、本講義に最も関連する図書ですので、できるだけ目を通してください。

また、その他の参考文献は、毎回配布する予定の資料の最後に載せる予定です。できるだけ、附属図書館の所蔵情報も載せる予定ですので、多くの文献に目を通してください。

3. 成績の評価

- 1) 出席点とレポートを総合して、評価します。定期試験は行いません。
- 2) 出席点が約2～3割、レポートが約7～8割として評価する予定です。
- 3) なお、毎回、講義の最後に5～10分程度時間を設け、A4判のレポート用紙に5～10行程度、その回の講義の感想・意見・要望などを書いて提出することで、出席点とします。

4. 講義を行うにあたって

- ・この講義では、できるだけ多くの話題を提供することを目的としています。したがって、それぞれの回の講義では、なかなか深い内容まで踏み込むことができません。そこで、配布資料には、数多くの様々な資料を載せるようにしています。自習の際の参考になるようにと考えてのことです。また、参考文献も（附属図書館の所蔵情報を含めて）数多く配布資料に載せる予定です。講義を聴いた後に、自ら、勉強を深めてもらうことを強く望みます。
- ・講義では、パワーポイントを用います。スライドの内容と配布資料の内容が一致していることもあれば、あまり一致していないこともあります。毎年、配布資料とスライドの改訂作業を行っているのですが、時間の都合上や最新の情報を提供するためにスライドの改訂を優先することが多々あります。特にこれらの場合は、是非、配布資料の余白やノートなどにスライドの内容に関するメモを取り、自習の際の参考としてください。これを機会に、是非メモを取る癖をつけてみましょう。眠気防止にもなります。
- ・眠気防止のためには、講義を聴いた後に、毎回必ず1つは何か質問やコメントをしようと考えながら、講義を聴くことも役に立ちます。その際には、講義の最後に書く感想・意見・要望などのためのレポート用紙を活用してください。
- ・講義の後半30分程度では、国内外の建築物のスライドを見せる予定です。これは、皆さんが様々な建築物をあまり見に行っていないと考えていることによるものです。講義の内容とは全く関係はないですが、居住環境学（もしくは建築学）の分野は、「見てなんぼ」の世界です。本当は、自分達でいろいろと見に行っておきたいのですが、せめて写真だけでも考えたもので

す。このスライドを見て、さらに自分でも多くの建築物を見ることを強く望みます。なお、このスライドは講義の内容とは関係ありませんので、見ることを希望しない場合は、退室しても結構です。

5. 配付資料

講義で配布する資料などは、できるだけ毎回下記のホームページにアップロードしておくので、必要な人や欠席した人は、各自でダウンロードしてください。

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsuji/kougi.html/chiiki.html/chiikikan.html>

6. 担当者

担当者の連絡先などは、以下の通りです。

助教授・辻原 万規彦

部屋：環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）4階西南角

電話：096-383-2929（内線492）

e-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

助手・岡本 孝美

部屋：環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）4階南側中央付近

電話：096-383-2929（内線482）

e-mail：okamoto@pu-kumamoto.ac.jp

7. その他の注意

- ・担当教員（辻原）に対して生理的嫌悪感などを覚える場合には、その時点でその旨を申し出てください。担当教員（辻原）自身の努力で改善されるような内容であれば、極力改善するよう努めます。しかし、担当教員（辻原）自身による改善が難しくなかつ正当だと考えられる理由を書面で提出した場合には、成績評価の際に、出席点に関する考慮を行います。ただし、その場合でもレポートは、必ず提出してください。
- ・授業時間以外で、担当者に質問をする際には、メールや電話で事前に連絡した方が確実に時間を確保できます。担当教員のオフィスアワーは木曜日5時限（16:10～17:40）ですが、この時

間帯といえども緊急の会議などの用事が入る可能性もあります。事前に連絡がない場合は、やむを得ず対応できない可能性もあります。なお、特に携帯からメールを送る際には、送り主の氏名を明記することを忘れないでください。送り主が明記されていないメールには返答しないこともあります。

- ・担当教員はできるかぎり標準語で話すように努めていますが、これまでの習慣上どうしても関西弁で話してしまうこともあります。しかし、漫才師などではありませんので、面白い話はありません。
- ・講義の進み具合によっては、講義の時間を延長することもあります。講義終了のチャイムが鳴った後、やむを得ない事情がある場合は、退室しても結構です。講義時間の延長があり得ることに充分注意し、その後の予定を組んでください。
- ・授業などの説明の際には、できるかぎり具体的な事例を交えて説明するように心がけていますが、これが雑談に聞こえる場合、もしくは本当に単なる雑談の場合で、それ以上聞きたくないと思われる場合は遠慮なく指摘してください。速やかに次の説明に移るように努力します。また、特に講義の前半では、進路・就職関連の資料を配付したり、情報を伝達したりすることがあります。これらの資料や情報を必要としない人は、遅れて教室に入ってきて結構です。

8. レポートの作成にあたって

レポートは、人に読んでもらうためのものです。従って、自分で何を書いているのかわからないようなレポートは提出しないでください。まず、第一に、読んでもらう人が理解できるように、わかるように、書くことを心がけてください。

この講義では、定期試験のかわりにレポート課題を出題する予定ですが、それまでにレポートの書き方について各自で充分検討し、習熟していることを強く望みます。

熊本県立大学附属図書館の『図書館資料検索』(<http://wwwlib.pu-kumamoto.ac.jp/cgi-bin/limedio/limewwwopac/>)で、「論文作法」などをキーワードとして検索すると、論文やレポートを書く際に参考となる様々な文献がでてきますので、参考にしてください。

例えば、以下のような本があります。

- [1] 『レポート・論文・プレゼン スキルズ レポート・論文執筆の基礎とプレゼンテーション』(石坂春秋, くろしお出版, 2003年3月, ¥1,400+税, ISBN: 4-87424-273-1) [3F和, 816.5, 9000006625]
- [2] 『Wordを使った 大学生のための論文作成術 思考技術・情報処理技術を書く力へ』(佐良木昌, 明石書店, 2004年10月, ¥1,600+税, ISBN: 4-7503-1983-X) [3F和, 816.5||Sa69, 0000290926]

- [3] 『講談社現代新書 1603 大学生のためのレポート・論文術』（小笠原喜康，講談社，2002年4月，¥680+税，ISBN：4-06-149603-4）〔文庫本，080||49||1603，0000259322〕
- [4] 『講談社現代新書 1677 インターネット完全活用編大学生のためのレポート・論文術』（小笠原喜康，講談社，2003年8月，¥720+税，ISBN:4-06-149677-8）〔文庫本，080||49||1677，0000273985〕
- [5] 『NHK ブックス 954 論文の教室 レポートから卒論まで』（戸田山和久，日本放送出版協会，2002年11月，¥1,120+税，ISBN:4-14-001954-9）〔文庫本，080||Nh 2||954，0000276644〕
- [6] 『レポート・論文の書き方入門 [第3版]』（河野哲也，慶應義塾大学出版会，2002年12月，¥1,000+税，ISBN：4-7664-0969-8）〔3 F 和，816.5||Ko 76，0000285910〕
→改訂版（1998年発行）は〔3 F 和，816.5||Ko 76，0000222982〕，〔書庫，816.5||Ko 76，0000252694〕
- [7] 『わかりやすい論文・レポートの書き方- テーマ設定から・情報収集・構成・執筆まで- 』（安藤喜久雄編，有楽出版社，1999年7月，¥1,500+税，ISBN：4-408-59126-2）〔3 F 和，816.5||A 47，0000275990〕
- [8] 『丸善ライブラリー246 理科系の論文作法- 創造的コミュニケーションの技術- 』（高木隆司，丸善，1997年9月，絶版，ISBN:4-621-05246-2）〔文庫本，080||MA 1||246，0000193254〕
→改訂版あり。『理科系の論文作法』（高木隆司，丸善，2003年8月，¥1,700+税，ISBN：4-621-07264-1）〔所蔵なし〕
- [9] 『PHP 新書 074 入門 論文の書き方』（鷺田小彌太，PHP 研究所，1999年4月，¥660+税，ISBN：4-569-60560-5）〔文庫本，080||P 56||074，0000275303〕
- [10] 『大学生と留学生のための 論文ワークブック』（浜田麻里・平尾得子・由井紀久子，くろしお出版，1997年1月，¥2,500+税，ISBN：4-87424-127-1）〔3 F 和，816.5，9000005588，9000006022〕
- [11] 『平凡社新書 103 ぎりぎり合格への論文マニュアル』（山内志朗，平凡社，2001年9月，¥700+税，ISBN：4-569-60560-5）〔文庫本，080||H 51||103，0000275301〕
- [12] 『卒論・ゼミ論の書き方 [第2版]』（早稲田大学出版部編，早稲田大学出版部，2002年5月，¥1,000+税，ISBN：4-657-02516-3）〔3 F 和，816.5||W 41，0000267194〕
→初版（1997年発行）は〔3 F 和，816.5||W 41，0000222141〕，〔書庫，816.5||W 41，0000226622〕
- [13] 『卒論応援団』（澁谷恵宜，クラブハウス，2000年7月，¥1,980+税，ISBN:4-906496-24-5）〔3 F 和，816.5||Sh 23，0000275899〕〔書庫，816.5||Sh 23，0000241701〕
→第2版あり（2003年6月，¥1,800+税，ISBN：4-906496-30-X）〔所蔵なし〕。
- [14] 『学生・院生のための研究ハンドブック』（田代菊雄，大学教育出版，2001年5月，¥1,500+税，ISBN：4-88730-437-4）〔開架2，002.7||Ta 93，0000271825〕〔書庫，002.7||Ta 93，

0000252692]

- [15] 『どう書くか 理科系のための論文作法』（杉原厚吉，共立出版，2001年1月，¥2,200+税，ISBN：4-320-00563-5）〔開架2，407||Su 34，0000262974〕
- [16] 『論文作法 調査・研究・執筆の技術と手順』（ウンベルト・エコ著，谷口勇訳，而立書房，1991年2月，¥1,900+税，ISBN：4-88059-145-9）〔3F和，801.6||E 19，0000237337〕
- [17] 『中公新書 624 理科系の作文技術』（木下是雄，中央公論新社，1981年9月，¥700+税，ISBN：4-12-100624-0）〔文庫本，080||26||624，0000005701，0000005702，0000005703〕
- [18] 『ちくま学芸文庫 レポートの組み立て方』（木下是雄，筑摩書房，1994年4月，¥757+税，ISBN：4-480-08121-6）〔文庫本，080||C 44||121，0000277997〕

その他にも，大学の売店（丸善）をはじめとして下記の本屋などで探してみてください。

1) 紀伊國屋書店熊本店

〒860-0807 熊本市下通1-7-18

電話：096-322-5531 FAX：096-352-635

営業時間：10:00～20:00

<http://www.kinokuniya.co.jp/04f/d03/kumamoto/01.htm>

2) 紀伊國屋書店熊本光の森店

〒869-1101 菊陽町津久礼3310(51街区) ゆめタウン光の森内2F

電話：096-233-1700 FAX：096-233-1701

営業時間：10:00～22:00

<http://www.kinokuniya.co.jp/04f/d03/kumamoto/02.htm>

3) リブロ熊本店

〒860-0805 熊本市桜町3-22 くまもと阪神6F

電話：096-211-9033 FAX：不明

営業時間：10:00～19:30

<http://www.libro.jp/web/shoplist/kumamoto.html>

4) 喜久屋書店熊本店

〒860-0807 熊本市下通1-3-10 ダイエー熊本下通店6F

電話：096-319-8581 FAX：096-319-8583

営業時間：10:00～21:00

<http://www.blg.co.jp/kikuya/zip.htm#kumamoto>

5) 蔦屋書店熊本三年坂

〒860-0801 熊本市安政町1-2 カリーノ下通1F-2F

電話：096-212-9111 FAX：096-212-9890

営業時間：10:00～深夜1:00（金・土のみ～深夜4:00）

<http://www.tsutaya.co.jp/shop/tenpo.zhtml?FCID=8000>

6) 熊本大学生協の学生会館ショップ書籍コーナー

〒860-8555 熊本市黒髪2-40-1

電話：096-345-9451 FAX：不明

営業時間：8:10～19:00（土日祝休み）

<http://ha9.seikyuu.ne.jp/home/kumamoto-u/index.html>

上記の全てに目を通す必要は全くありませんが、今後、4年生になって研究室に配属された際にも必要になるでしょうから、気に入ったものを1冊くらい手元に置いておくとよいと思います。